

科目名	基礎看護実習Ⅰ (施設見学・シャドウイング実習)					DP1 DP2 DP3 DP5 DP6	看護高等課程		
学年	1 年	分野	専門 臨地実習 基礎看護	時間数	8 0 時間	科目 責任者	専任 教員	担当 教員	専任教員
科目 概要	看護の場や看護場面の見学、患者とのコミュニケーション体験を通し、初めて看護を体験する実習である。各医療施設での聴講や見学では、各病院の役割や機能、病棟の特徴について理解を深め、看護師と共に行える範囲のケアの実践・見学を通して、看護師がどのように患者の安全・安楽・安心、健康の回復の支援をしているか知り、看護師が行う療養環境調整の重要性や看護の本質を考え学ぶ。また、看護師の実践するコミュニケーションや日常生活援助を通して、看護活動の必要性を認識し、看護を実践するための専門的知識と技術だけでなく、道徳性や倫理性が求められていることを感じとる実習である。								
到達 目標	1. 各施設の概要と病棟の特徴を理解し、療養生活を送る場としての療養環境を整える視点・要素がわかる。 2. 患者に合わせた療養環境の調整をしている看護師の行動を意図的に観察し、療養生活を送る患者の思いを察し療養生活が患者に及ぼす影響がわかる。 3. 療養環境における危険箇所を把握し、安全対策の概要、安楽を守るための工夫や取り組みについて理解することができる。 4. 患者の状態・状況を判断し環境調整を行っている看護師の行う環境調整の目的や実際の方法について看護の役割・責務と意味づけ理解することができる。								
	実習場所		授業内容				形態	担当教員	
	病棟		実習期間：オリエンテーション（2 時間） 現地オリエンテーション（4 時間） 病棟実習（7 日間） 学びのカンファレンス（4 時間） 実習時間：8：00～16：00（実習時間 10 時間） 実習先：社会福祉法人恩賜財団済生会支部 佐賀県 済生会唐津病院 医療法人 松籟会 河畔病院 実習方法：学生 4～5 名を 1 グループとし、実習開始前の 7 月に現地オリエンテーション、見学実習、7 日間の病棟実習、病棟実習終了後に各病院での実習での学びの共有と討議を行う。 実習の詳細：各施設の見学実習を行い、施設の概要と病棟の特徴、看護師に同行しシャドウイングを行い、看護師と共に行える範囲のケアの実践・見学を行う。実習終了後に、それぞれの、病棟実習での学びを共有し、討議を行う。 詳細は実習要項を参照する。				実習	専任教員	
評価 基準	基礎看護実習Ⅰ（40 点）、基礎看護実習Ⅱ（60 点）の総合評価で 100 点となるが、それぞれ評価点の 6 割以上で合格となる。基礎看護実習Ⅰ（24 点以上）、基礎看護実習Ⅱ（36 点以上）								
評価 方法	出席状況と実習への参加態度、行動などで総合的に評価する。パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。								
教科書	必要な参考書や教科書は実習オリエンテーション時に提示する。また、適宜資料を配布する。								
履修上の 注意点	インターネット等からも施設の情報を収集し、自己にて積極的に学習を行うことが必要となる。実習中は要項を熟読し、主体的な行動がとれるように努力する。判断に困った際は、臨床指導者・指導教員へ積極的に相談を行い、問題を解決する努力をすること。								

科目名		基礎看護実習Ⅱ (日常生活援助実習)				DP1 DP2 DP3 DP4 DP5 DP6			看護高等課程	
学年	1 年	分野	専門 臨地実習 基礎看護	時間数	140 時間	科目 責任者	専任 教員	担当 教員	専任教員	
科目 概要	基礎看護実習Ⅱでは、対象者に対して初めて看護を提供する実習となる。実習指導者や教員へ相談をしながら、既習知識を活用しながら思考し、患者の基本的欲求を充足できるような看護を目指していく。対象者のニーズを知るためには観察力やコミュニケーション能力が必要である。そのためには、日々患者の状態の小さな変化に気付くためにベッドサイドへ足を運び、看護の視点で日常生活援助を実践できるよう努力する。日常生活援助の実践においては、安全性や安楽性まで考慮できるよう、科学的根拠を基盤にした技術の探求を行っていく実習である。									
到達 目標	1. 観察や情報を元に患者のニーズを把握し、基本的欲求を充足させる日常生活援助を探究することが出来る。 2. 患者の苦痛やニーズを捉えるためのコミュニケーション方法がわかる。 3. 日常生活援助を安全と安楽に配慮し、工夫をしながら実施し、実施中の患者の反応を捉えることができる。 4. 患者の心身に働きかけ、基本的欲求を充足させる日常生活援助について説明することが出来る。									
	実習場所			授業内容					形態	担当教員
	病棟			実習期間：オリエンテーション（6 時間） 病棟実習（12 日間） 合同実習カンファレンス（10 時間） 学びのまとめ（4 時間） 実習時間：8：00～16：00（実習時間 10 時間） 実習先：社会福祉法人恩賜財団済生会支部 佐賀県 済生会唐津病院 医療法人 松籟会 河畔病院 実習方法：学生 4～5 名を 1 グループとし、12 日間の病棟実習を行う。実習終了後、実習での学びの共有と討議を行う。 実習の詳細：12 日間の病棟実習にて入院患者を 1 名受け持ち、患者のニーズを理解するために必要な情報収集を行い、日々変化する患者の状態を観察し、基本的欲求を充足させる日常生活援助を考え、指導者から助言を得ながら実践する。実習終了後に、それぞれの、病棟実習での学びを共有し、討議を行う。詳細は実習要項を参照する。					実習	専任教員
評価 基準	基礎看護実習Ⅰ（40 点）、基礎看護実習Ⅱ（60 点）の総合評価で 100 点となるが、それぞれ評価点の 6 割以上で合格となる。基礎看護実習Ⅰ（24 点以上）、基礎看護実習Ⅱ（36 点以上）									
評価 方法	出席状況と実習への参加態度、行動などで総合的に評価する。パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。									
教科書	必要な参考書や教科書は実習オリエンテーション時に提示する。また、適宜資料を配布する。									
履修上の 注意点	基礎看護概論、基礎看護技術、臨床看護総論で既習した知識を活用し、積極的に学習を行うことが必要となる。実習で判断に困った際は、臨床指導者・指導教員へ積極的に相談を行い、問題を解決する努力をすること。									